



たましろの郷より

3月号

たましろの様子や今後の予定をお伝えするページです。



☆施設からの報告

創立記念の11年目の年頭に…

2月18日の「創立10周年のつどい」は、後援会の全面的なご支援を受けて、400人を越える参加者を迎え、盛大に開催出来ましたことを心から感謝申し上げます。

現役理事長市川恵美子さんを始め、複数の利用者、職員との悲しいお別れもありました。

施設運営面でも“支援費(契約)制度”“自立支援法”と国の目まぐるしい方向転換に翻弄されながらも、何とか乗り切れましたことも併せて深謝いたします。

新年度は「支援法」に則った新事業体系への移行をし、入所・通所の「併設施設」から、「居宅支援＝施設入所」「日中支援＝生活介護」「短期入所」の三事業を経営する施設となりますが、事業名称や契約方式など変わっても、基本的にはこれまでの作業内容、施設生活、なかまの給料体系などは継続することを大前提としていきます。

細かなことについては、今後とも報告していきますので変わらぬ支援をお願い致します。

☆たましろの郷設立10周年記念集会を行いました たましろサーカス開幕！！

今年たましろの郷設立10周年で、2月18日に青梅市民会館で、10周年の式典を行いました。

その中で行ったなかまのアトラクション、「たましろサーカス」の報告をします。今回は舞台の指導にトミー&ヒロミが加わりました。「ヒロミ」というのはたましろの職員で、サーカス団員経歴を持つ女性です。「トミー」というのは、ヒロミと一緒にサーカスをやったことのある女性です。プロの二人が加わったアトラクション、どんな感じになるのかわくわく！

なかまたちとたくさんの練習時間を持ちました。練習の中で、なかまたちの新たな一面を発見することが出来ました。淡々と皿回しを続ける人、ポーズの練習を繰り返す人。いろんな道具に挑戦してみようとする人(なんと、大きな一輪車に乗ってみようとしていました！)。今回は出ないなかまも興味津々で道具や練習風景を見つめます。

当日までに、たくさんの予想外の事が起こりました。練習ではいきいきやっていたなかまが、夜になって急に「私やらない。出ないわ」と言ったり。リハーサル時には焦って大道具にぶつかってしまったり。よい舞台にしたいという思いが強くなり、他のなかまに感情をぶつけてしまったり。

さて肝心の本番！にぎやかなピエロのメイクをしたり、おそろいのたましろハッピーを身につけて舞台に立ちました。パントマイムや風船、皿回しや人間椅子、練習してきた演目を一生懸命演じます。そこには練習の時にも増していきいき

と演技をするなかまの姿がありました。そして、トミーの椅子を積み重ねた逆立ちやヒロミの大きな一輪車の曲芸にはハラハラドキドキ！会場と舞台が一体になった楽しいアトラクションになりました。

「サーカスの道化師を経て、たましろで支援の仕事をしてきたうえで今回の企画を任せていただき感謝しています。なかまの持っている力を実感するとともに、改めて支援の姿勢を考え直す機会となりました。いつのまにか「こんなものだろう」と限界を勝手に設定してあきらめていたような気がします。こちらが諦めず関われば、なかまたちも粘り強く挑戦し続けてくれるのだと実感しました。なかまの挑戦と、たくさんの支援者の連携で舞台を作る事が出来ました。温かい声援と拍手に感謝いたします。」(ヒロミ談)

当日の写真はこちら！



なかまの開会の言葉で始まりました。



パネルディスカッション



会場入り口には、なかまの共同作品「もちつきの貼り絵」を飾り、2階ではたましろの歴史を展示しました。



こちらが、トミー＆ヒロミ。とっても愉快的な、体も心も柔らかく温かい雰囲気のある二人です。





本番前、衣装もメイクもバッチリ！
ちょっと緊張しながら身体をほぐしているところです。



カラフルなピエロになったなかまが登場！パントマイムや風船など、それぞれ得意な芸を披露しました。



皿回し。初めての時は落としてばかりでしたが、練習の甲斐あって上手になりました。



人間椅子！椅子をどんどん抜いていきます、姿勢を保てるかな…！？見ていてハラハラドキドキ。大成功で、最後はみんなで綺麗に落ちました。



ヒロミの大きな一輪車芸！頭に傘を乗っけたり、たくさんの輪っかを回したり。さすがプロだなあと感心しきりでした。



最後はなかまから職員へ、職員からなかまへお花を手渡し、華やかに終了しました。



施設に戻ってから、夕食はパーティ！家族会が主催してくださり、なかま、ご家族、職員みなでごはんもお酒もたっぷり楽しくいただきました。

☆鬼は～外! 豆まき

2月3日の節分、皆さんは豆まきをしましたか？
たましろの郷でも、毎年豆まきをしています。

午前中の作業でお面作り。「今日豆まき？」「鬼は誰？」と楽しみにし、お面が出来上がるとさっそく頭に掛けてかぶっているなかまも。

午後から豆まきの準備です。床に落ちて食べられるように落花生を使用し、後片付けしやすいよう2、3個をまとめて紙に包んでまくのがここ最近のたましろの豆まきスタイルです。包み終わった落花生を箱に入れて抱え、さあ、準備完了！

ソファでのんびりしていたなかまも、豆まきになると立ち上がりやる気満々。鬼役のなかまめがけて豆をまきます。優しく投げたり、ここぞとばかり思いっきり投げたり…さまざまです。

食堂、事務室、職員室、医務室もまわり、鬼に扮した職員に向けて「鬼は外、福は内」と笑顔で勢いよく豆を投げ、最後は人い集めてしっかり食べました。包み紙を回収してまわるなかまもいて、役割分担の素晴らしいこと。なかまの掛け声どおり、「鬼は外、福は内」の1年でありますように…。



☆もちつき集会を行います

毎年恒例の、開所記念のもちつき集会を今年も行います。
皆さん、ぜひぜひお越しください。この日だけはダイエットなんて忘れて、一緒においしいおもちをお腹いっぱい食べましょう！

日時：2012年4月22日（日） 11時～14時

場所:たましろの郷 中庭

去年のもちつきの様子です。たくさんついて、たくさん食べました。



☆花粉症の季節



すっかり花粉症の季節ですね。今年の花粉は平年並みかそれ以下と言われていますが、皆さんはいかがですか？

たましろのなかまも職員も、毎年花粉症に悩まされる人が多くいます。

毎年のことなので、なかまは早目に薬を処方してもらい、2月に入る頃から対策に余念がありません。

職員の中には、青梅に引っ越してきてから花粉症になり、「ん！花粉飛んでる…」と察知できるほどの強者に成長した人も。わかる人にはわかるようですが、やはり青梅の花粉は多いのでしょうか。

花粉の季節や鼻風邪が流行すると、たましろの中でティッシュを見かける回数が増えます。

寄付で頂いたポケットティッシュを作業棟や食堂の手洗い場などに置き、自由に使用できるようにし、足りなかつたり補充を忘れると、なかまから催促されることもあります。自分専用の箱ティッシュを持ち歩くなかまもいます。

そのティッシュをポケットに入れたまま洗濯してしまったり、かみすぎて鼻の下ががびがびになり医務室に駆け込んだり、いろいろあります。「あー、いつものこの季節が来たなー。春ですなー」と感じる一コマです。

☆ボランティア募集

たましろの郷では、作業・余暇活動に協力して下さるボランティアさんを、随時募集しています。手話など、特別な技術はなくても参加できます。作業や余暇など、一緒にいて頂くだけでも大歓迎です。

○作業ボランティア

たましろでは、委託清掃や製菓(クッキー)作業の他に軽作業、レクなどの日中活動に取り組んでいます。手話や特別な技術よりも、一緒に過ごして楽しんでもらえるボランティアさんを、いつでも受け入れています。

主な活動

	月	火	水	木	金
午前	居室清掃	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
午後	軽作業	軽作業 レク	軽作業	軽作業 レク	レク

※火、木の午後は隔週で作業とレクを行います。

レクの内容は、スポーツ、ドライブ、調理、ビデオ鑑賞などです。
※平日は、送迎バスを利用できます。事前にお問い合わせください。

○余暇活動ボランティア

施設のなかま、職員と集団で一緒に過ごします。

職員と一緒におりますので、ご都合に合わせて遊びに来て下さい。

余暇の活動内容は、ボランティア情報をご覧ください。

☆4月ボランティア情報はこちら

こちらから4月のボランティア情報をご覧ください。

※[ボランティア便り4月号.pdf](#)をリンク。